

令和7年度 第19回政策推進会議報告

日 時 3月 9日 9時30分～10時00分

場 所 4-1会議室

出席者 19人

1 あまがさき共創 DX プラン 2.0(素案)に対する市民意見公募手続の結果及びあまがさき共創 DX プラン2.0(案)の策定について

デジタル政策監から資料に基づき報告。

2 尼崎市道路整備プログラムの策定に係る「市民意見聴取に係る施策の概要」及び「政策形成プロセス計画書」の公表について

都市整備局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

- ・(資産統括局長)本プログラムに盛り込む道路の予定箇所と収支見通しとの整合性についての考え方はあるのか。
- ・(都市整備局長)対象範囲を含め、庁内協議を行いながら今後検討していく。
- ・(市長)都市計画道路の整備率が90%とあるが、残り10%は、用地買収が進まずに頓挫しているような都市計画道路という理解でよいか。
- ・(都市整備局長)用地買収が進まないものをはじめとして、例えば、道路の幅員が確保できていないものとして、橋の架け替え事業を行っている箇所や既存の建物の塀がかかっている箇所などが含まれる。
- ・(市長)園田西武庫線など、多くの方が実現不可能と感じ、優先順位が下がっている計画を廃止する可能性はあるのか。
- ・(都市整備局長)都市計画道路は土地利用に制限をかけるため、15年ほど前から議論し、一部長期未着手で、見通しが立たない路線を廃止した経緯がある。前回の議論から15年ほど経つため、改めて検討する可能性がある。
- ・(塚本副市長)代表的な未整備箇所はどこなのか。
- ・(都市整備局長)近松線が、かなりの距離で未整備のまま残っている。
- ・(吹野副市長)本市の都市計画道路の整備率が90%と高い感じがする。宝塚市や伊丹市は50%程度と聞くが、尼崎市の優位性や背景はどうなっているのか。
- ・(都市整備局長)尼崎市は戦後早くから既成市街地であったため、用地買収や土地区画整理事業を早くから進めてきた。一方、西宮市や宝塚市は山間部があり、高度経済成長期以降にニュータウン開発に併せて都市計画決定した路線が残っているため、尼崎より10ポイントほど整備率が低い傾向にある。
- ・(市長)本プログラムには西宮市との間の園田西武庫線のような跨る路線も含まれるのか。
- ・(都市整備局長)未整備率に含まれる。
- ・(市長)市民から要望の多い生活道路の補修や古い歩道の更新については、本プログラムに含まれるのか。
- ・(都市整備局長)市長が指摘された内容は「維持修繕」の 카테고리となり、生活道路のひび割れ率などを客観的なデータで評価し、優先順位をつけて進めているが、本プログラムとは別枠の管理となっている。

3 その他

- 危機管理安全局長から阪神武庫川駅周辺の路上喫煙禁止区域への指定について説明。
- 総合政策局長から「総合文化センターの歴史をたどる展覧会」の開催について説明。
- 公営企業管理者から「尼崎市制110周年記念 G1尼崎センブルカップ」の開催について説明。

以 上